

令和7年度 東洋大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラムに係る自己点検・評価結果

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>学部学科のカリキュラムにあわせて、4つのプログラムを展開している。</p> <p>情報連携学部(6科目):プログラムの全科目が必修となっており、各科目で330名程度履修している。修得率は82.2~95.1%である。</p> <p>総合情報学部(2科目):全体で20%程度履修している。修得率は85.6%・93.4%である。</p> <p>国際学部グローバル・イノベーション学科(2科目):全体で7%程度履修している。修得率は71.4%・85.7%である。</p> <p>上記以外の学部学科(2科目):全体で1%程度履修している。修得率は85.3%、92.2%である。</p>
学修成果	<p>各プログラムにおいて、授業ごとに講義の目的・内容や学修到達目標を設定しシラバスで公開している。また、授業内容を踏まえ、授業担当教員が指導方法や事前・事後学修で学習効果を高めるための工夫を凝らしている。授業終了後には、プログラムまたは科目単位で学生アンケートを実施し、その実施結果を授業担当教員へフィードバックするとともに、全学カリキュラム委員会にて確認している。</p>
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<p>プログラムまたは科目単位で学生アンケートを実施し、学修内容の理解度等を確認するとともに、授業担当教員へ実施結果をフィードバックし授業改善に活用している。</p>
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	<p>令和7年度に実施したアンケートでは、授業の分かりやすさや授業の魅力といったアンケート項目に対し、75~85%の受講者が肯定的な回答であった。</p>
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	<p>プログラムの対象者全員に対して、年度初めに本学の公式アプリで本プログラムの周知を行った。特に情報系ではない学部において履修者数が少ないため、プログラムをより浸透させるために、今後は各学部学科にて実施する新入生向けのガイダンス等での働きかけも行っていく。また、履修者数が少ないデータサイエンス概論およびAI基礎については、次年度より新たにオンデマンド授業で開講し、履修者数の増加をつなげていきたい。</p>

学外からの視点	
教育プログラム 修了者の進路、 活躍状況、企業 等の評価	令和 5 年度から開始したプログラムのため、進路、活躍状況等は今後対応していく予定である。
産業界からの視 点を含めた教育 プログラム内 容・手法等への 意見	令和 7 年度にプログラムの変更が生じたため、変更後の実績を踏まえ、令和 8 年度に外部評価を実施する予定である。
数理・データサイ エンス・A I を「学 ぶ楽しさ」「学ぶこ との意義」を理解 させること	プログラムまたは科目単位で実施した学生アンケートでは、授業の魅力や学びに関する自己評価といった項目で 80%程度の受講者が肯定的な回答であった。実施結果は授業担当教員へフィードバックし、授業改善に活用していく。
内容・水準を維持・ 向上しつつ、より 「分かりやすい」 授業とすること	プログラムまたは科目単位で実施した学生アンケートでは、授業の分かりやすさの項目で 75~85%の受講者が肯定的な回答であった。実施結果は授業担当教員へフィードバックし、より「分かりやすい」授業となるよう、授業改善に活用していく。また、実施結果を踏まえ、学生のレベルや希望にあわせたコースやプログラムの体系等、今後の改善に活用していきたいと考えている。

令和 8 年 3 月 27 日
東洋大学 全学カリキュラム委員会